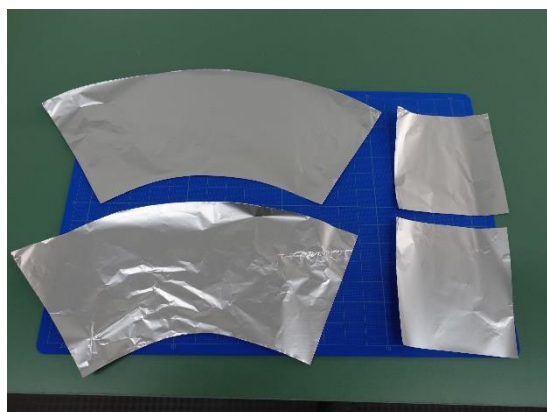


ライデンコップの製作

- 1 用意するもの
プラスチックコップ 4 個
アルミホイール
カッター
両面テープ
- 2 アルミホイールを広げ、プラスチックコップを転がして、カット線を付ける。



- 3 プラスチックコップに巻き付けられる程度の長さで扇型に 2 枚カットする。

また、10～15 c m 程度の正方形をカットしておく。実験をする人数が多ければ、この正方形の枚数を人数分カットする。

- 4 プラスチックコップにカットしたアルミをしわにならないように巻き付けて、両面テープで止める。これを 2 個製作する。アルミはプラスチックコップの上端から 1 c m 程度以上離して下にはりつける。余った分は底に折り曲げておく。

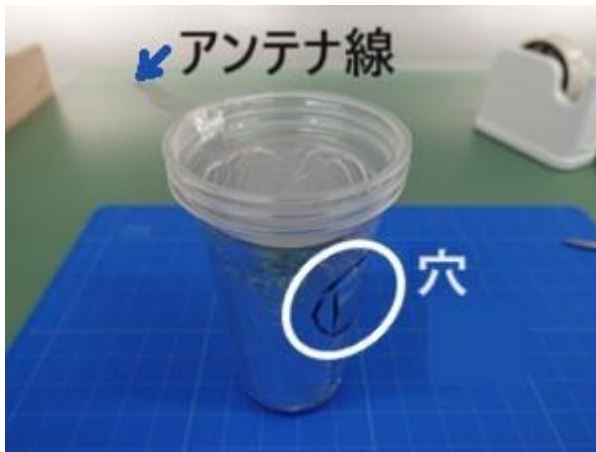


- 5 カットした正方形のアルミは 3 回折り曲げてアンテナ線を作る。



6 別のプラスチックコップの真ん中くらいに手を触れるための穴をあけておく。

7 アンテナ線をアルミホイルを巻いた2つのコップの間に差し込む。



8 さらに外側に穴のあいたコップをはめて完成。

穴の位置はアンテナ線の反対側にする。

9 実験の仕方

穴の開いたところに指を触れたまま、アンテナ線にマイナス電荷を与えて電荷をためていく。マイナス電荷をためるのに、塩ビ管を毛皮やナイロンタオルで摩擦しそれをアンテナ線に触れるか触れないか程度に20回程度行う。

そのまま手をつないで実験してもよいが、人数が多い場合は先ほど余分に作



ったアンテナ線をそれぞれが持ってアンテナ線をつなげていく方が効果があるようだ。微電流なので大丈夫だが、心臓が弱い人は参加しないでください。